

令和5年度 第1回多摩市スポーツ推進審議会 会議録(要旨)

令和5年5月16日(火曜)

開催時間:午後2時00分~4時15分

開催場所:多摩市役所 401会議室

出席委員:

会長

学識経験者

小林 勉

副会長

学識経験者

永吉 英記

スポーツ関係者

岡本 健

スポーツ関係者

西田 英子

スポーツ関係者

野口 享子

学校教育関係者

木下 雅雄

公募市民

角田 二奈

公募市民

小林 清

欠席委員:

学校教育関係者

権藤 義彦

障がい者スポーツ関係者

中村 一昭

(敬称略)

事務局:

くらしと文化部古谷部長、スポーツ振興課私市課長、スポーツ振興課小泉担当主査、スポーツ振興課五十嵐担当主査、スポーツ振興課今田主事、スポーツ振興課金城主事、スポーツ振興課山岡主任

傍聴者:

なし

(開会時刻:午後2時00分)

<配布資料>

- 資料 1 事務局(スポーツ振興課)の人事について
- 資料 2 令和4年度第2回多摩市スポーツ推進審議会会議録(案)
- 資料 3 スポーツ推進審議会 名簿
- 資料 4 スポーツ施設管理運営状況について(報告)
- 資料 5 (仮称)多摩市スポーツボランティアについて
- 資料 6 スポーツボランティア登録要項
- 資料 7 令和5年度多摩市スポーツ推進審議会スケジュール(案)
- 資料 8 施策の柱別スポーツ振興事業実績報告

はじめに

会 長	(資料3に基づき説明) ○資料3のとおり、令和5年3月末をもって齋藤委員が退任され、本日は欠席であるが、権藤委員が新たに令和5年4月1日付で着任した。
事 務 局	(資料1に基づき説明) ○資料1のとおり、スポーツ振興担当1の職員1名が1年間休職となり、新たに野々村が着任した。スポーツ振興担当主査2の五味田が異動し、代わりに五十嵐が同役職として着任した。

報告事項 3.総合体育館照明 LED 化事業の実施について

報告事項 4.総合体育館レストラン「ぶれーる」のオープンについて

	【事務局説明】
事 務 局	(資料4に基づき説明)
	【意見・質疑応答】
委 員	○LED化により光熱費が削減される。今回のESCO事業では事業者はその削減分から利益を取るとのことだが、今回のようにESCO事業という手法ではなく、初期費用が掛かっても市が自前でLED化をした方が長期的にみてメリットを得られるのではないかと。
事 務 局	○令和元年度の武道館等大規模改修においては、市の工事で照明のLED化を行ったこともあり、このような市が直接行う工事では一時に大きな財政負担が生じることになる。一方で今回のESCO事業のメリットとしては、事業期間中に財政負担を平準化することが可能となる点があげられる。また、削減した光熱費から財源を確保するため、新たな財政負担を伴わないこともメリットであると考えている。

報告事項 5.マイクロプラスチック対策の状況報告について

	【事務局説明】
事 務 局	(資料4に基づき説明、及びメーカーとの実証実験で使用している資材の披露)
	【意見・質疑応答】
会 長	○フィルターが詰まるとどうなるのか。 ○多摩市のマイクロプラスチック対策は全国的に見ても先進的な事例なのか。

事務局	<p>○側溝に設置したフィルターが詰まると最終的にはフィルターが水を通さなくなり、オーバーフローしてしまう。側溝を流れた水は最終的には集水桝につながっているため、集水桝でろ過できれば、全てのマイクロプラスチックを捕捉できるという考え方もあり、様々な方法を実験している。</p> <p>○全国的に取り組んでいる自治体の情報はほとんどない状況である。多摩市の他には、大阪府がマイクロプラスチックへの取組を行っており、ガイドラインの策定を行っているがガイドラインの内容は多摩市での取組み内容と同内容となっている。</p>
委員	○人工芝よりも土のコート(クレーコート)の方が環境的にはやさしいのではないかと考えるが、利用者からは人工芝でないで利用しづらいなどの意見があるのか。
事務局	○全国的にも一般市民の利用するテニス環境としては人工芝が非常に好まれており、多摩市のテニス利用者からも、過去のアンケート結果でも80%程度の方が、人工芝を希望する傾向にある。クレーコートは人工芝の半分程度の稼働率となってしまう。多摩市は全国的にもテニス利用者が多く、稼働率が高いため、それに応えるためにも人工芝が必要というのが現状である。
会長	○稼働率の差というのはどうして生じるのか
事務局	○人工芝は水はけが良く、雨が上がった後に圧倒的に早くテニスができるようになる。クレーコートの場合は、水はけが悪く、冬場などは凍り付いてしまい利用できるまでに何日もかかってしまうことがある。
委員	○実際にテニスをプレーしている人たちは、自分たちがマイクロプラスチックを出しているとは思っていないのではないかと。マイクロプラスチックの問題については、テニスをしている人たちに伝えた方が良いと思う。
会長	○市民の方は多摩市がマイクロプラスチック対策をしていることを知らないのではないかと。多摩市がマイクロプラスチック対策をしていることをもう少し市民へ情報発信した方が良いのではないかと。
委員	<p>○ラグビーの経験から言うと、天然芝のグラウンドは、年間約4000万維持費がかかることがあり、人工芝は約1億5000万円でその後維持費をかけずにおおよそ10年程度利用できると考えると費用対効果が全然違う。天然芝を維持するには大量の農薬が必要という面もあり、一概に天然芝の方が地球環境に良いとは言えない。</p> <p>○人工芝のマイクロプラスチック問題は、メーカーの社会的責任の範疇で取り組むべきではないかと考える。</p>
事務局	<p>○メーカーも問題意識を持っており、そのため今回多摩市の実証実験にもご協力を頂いていると感じている。</p> <p>○多摩市の実証実験でより効果の高い対策が確立し、社会に広まっていけばよいと思う。</p>
委員	○飛沫が流出しても問題ない自然由来の人工芝とするのはどうなのか。
事務局	○原材料の一部を自然由来成分とした人工芝も製品化されている。一方で、スポーツ用の人工芝は、耐久性が求められる。そのため、スポーツ利用できるように耐久性を維持しつつ100%自然由来の原材料とする人工芝は開発されていない状況にある。
委員	○今後、これらの実証実験の結果をどうつなげていくのか。
委員	○実証実験は良いと思うが、その結果をどのようにしていきたいのか。マイクロプラスチックの問題において、テニスの人工芝の問題は一部であると考えますが、多摩市の取組の中でくらしと文化部がマイクロプラスチック対策を担当しているのか。

事務局	<p>○多摩市では環境部がマイクロプラスチック対策を担当している。くらしと文化部では、スポーツ施設を管理する中でマイクロプラスチック対策の取組を行っている。</p> <p>○マイクロプラスチック対策の取組を進めるためには、市民1人1人にマイクロプラスチックが身近な問題であると感じていただくことが重要だと考える。そのためには、市民の方にテニスコートでのマイクロプラスチックの問題について関わっていただくことで、人工芝の問題だけでなく家庭や社会生活での身の回りのプラスチックについても問題意識を持つようなきっかけ作りになればと思っている。</p>
委員	<p>○スポーツとSDGsの関連は今後より重要だと考えるが、まだ取り組まれていないという現状があると感じる。スポーツは、人工芝の環境への影響などSDGsに逆行しているのではないかという意見もあるが、このような対策をすることを通じて、環境問題に対応したスポーツ施設の管理を行うことは必要であると考えている。</p> <p>○健康への影響も考慮に入れる必要がある。プレイヤーがマイクロプラスチックを吸い込んでしまうなど健康被害への影響も無視できない。マイクロプラスチック対策の取組の中で、並行して健康への対策も検討するべきではないか。</p>
委員	<p>○このマイクロプラスチック対策は、非常にすそ野が広く、またスポーツ振興課は先進的に取り組んでいるので、取り組みの成果を何らかの形で発信してほしいと思う。</p>

報告事項 6.大谷戸公園キャンプ練習場の見直し状況について

	【事務局説明】
事務局	(資料4に基づき説明)
	【意見・質疑応答】
委員	<p>○先日、大谷戸プレーパーク事業でキャンプ練習場を利用してきた。雨でも宿泊客もいたようだった。昨今、キャンプ場利用者のごみの放置が問題となっているが、利用者もごみの持ち帰りに苦慮している部分もあるようだ。ごみは自分で持ち帰るのが基本だと思うが、ごみの放置のことを考えると有料化を併用することも良いと考える。</p> <p>○7月から貸出用備品のサービスを開始することのだが、キャンプ用品の貸出(テント・タープなど)は一般的には減少気味の傾向だと感じる。利用後にスタッフが貸出備品の汚れ落としなどを行う必要があり、管理が大変なためである。費用面でも安く貸し出すと、割に合わないと思うので、料金は高くてもよいと思う。</p> <p>○駐車場についてはどうなっているのか。</p>
事務局	<p>○駐車場については、本日の議題ではないが、現在の荷下ろし場で3台の駐車スペースのところを拡張する計画である。</p>
委員	<p>○駐車スペースをどこに拡張するのか。</p>
事務局	<p>○現在の駐車スペース横に広げる。またトイレの裏側あたりに新たな駐車スペースを作れないか検討している。</p>
会長	<p>○キャンプにおいては、駐車場のニーズは高いと考えている。</p>

報告事項 7.多摩市スポーツボランティアについて

	【事務局説明】
事務局	(資料5に基づき説明)(資料6も参照)以下補足説明。

	<p>○(仮称)多摩市スポーツボランティアの登録は、68名から申請があった。内訳は以下である。</p> <p><年代別></p> <p>10代—20代:15名</p> <p>30代—50代:31名</p> <p>60代以上:22名</p> <p><性別></p> <p>男性:41名</p> <p>女性:27名</p> <p>○市内大学へ学生への制度周知の協力を依頼するため、学校に訪問して説明を行った。</p> <p>○このボランティア制度を活用する令和5年度の大きなイベントとして、12月に開催予定の都主催の「(仮称)多摩自転車ロードレース」があり、内容としては沿道ボランティアを想定している。</p> <p>○6/24(仮)に開催予定のボランティア研修会では、以下などを行う予定である。</p> <p>①仮称となっている制度の名称の決定。</p> <p>②規約についての最終的な決定。</p> <p>③ボランティアルールの周知</p> <p>○市外ボランティア活動としては、東京ヴェルディホームゲーム公式戦でのボランティアを予定している。東京ヴェルディのホームページで募集しているものとボランティア内容は同じだが、制度を活用することで、より多くの方に周知できると考えている。</p> <p>○本制度は、単年度の事業ではなく、来年度以降も実施していく予定である。</p>
	【意見・質疑応答】
会 長	○資料6の「7 その他(5)」にて、猛暑や、極寒の中での活動が予想されますので…とあるが、そういう状況が想定されるのか。
委 員	○東京2020大会の時に、ロードレースに参加したが、日を遮る場所がない所で何時間も行うと、真夏だと厳しい状況があった。
委 員	○東京2020の時は、組織委員会側もボランティアの休憩スポットやローテーションなどは手が回らず、実際に体調を崩された人もいた。 ○ボランティアの趣旨には賛同できるし大事なことだと思うが、ボランティアの方は善意で来られており、事務局は手違いのないように細心の注意をもって準備が必要であるため、実際には思ったよりお金がかかる部分もある。
委 員	○ボランティアは参加人数が多ければ、2交代制・3交代制などして、参加者への負担軽減を無理なく行うことが可能なため、募集人数についても配慮が必要である。
委 員	○登録した後のボランティア保険についてだが、1回入ると1年間有効な1人約500円の社会福祉協議会の保険に入る想定なのか。大学で学生をボランティアへ勧誘するためには、保険の仕組みを知っておく必要がある。
事 務 局	○市の方で加入している保険もあり行政が依頼したボランティアへは適用可能である。主催者の保険と市の保険とで二重でカバーすることが可能である。
事 務 局	○市で、全国市長会の保険に入っている。市が主催する事業でボランティアを募る場合は保険が適用可能である。

委員	○けがをさせてしまった場合の賠償責任保険にも加入しているのか。	
事務局	○賠償責任保険の有無についてなど、全国市長会の保険については調べた上で、次回報告を行うとともに、6月開催予定のボランティア説明会でも説明を行う。	課題 (市)

報告事項 8.令和5年度多摩市スポーツ推進審議会スケジュール(案)について

	【事務局説明】
事務局	<p>(資料7に基づき説明)以下補足説明。</p> <p>○これまで本審議会は年2回開催としていたが、今後は年4回開催を継続的に行うことで考えている。</p> <p>○第2回審議会では、主に以下の内容についてご審議いただく予定である。</p> <p>①令和4年度の実績報告</p> <p>②スポーツ振興補助金適用のために、10月開催予定の武道祭について審議</p> <p>○現在の審議会委員の任期が令和6年6月末までとなり、令和6年4月頃に、再度市民委員の募集を行う予定である。</p>
	【意見・質疑応答】
	特になし

報告事項 9.スポーツ振興事業実績報告及び今年度の予定について

	【事務局説明】
事務局	<p>(資料8に基づき説明)以下補足説明。</p> <p><資料全般について></p> <p>○令和4年度は、決算額が確定していないため、予算額で記載している。</p> <p><令和3年度スポーツ振興事業の実績報告について></p> <p>○スポーツ推進委員費は、令和3年度は18名のスポーツ推進委員の精力的な活動により、新型コロナウイルスの影響もあったが、市民への活動の場を提供できた。</p> <p>○スポーツ教室運営事業は、選手との接触が新型コロナウイルスの影響で難しく、事業の中止が多く、コロナ禍における事業継続の課題が残るかたちとなった。</p> <p><令和5年度のスポーツ振興事業について></p> <p>○オリンピック・パラリンピックムーブメント推進事業として、スポーツボランティアや自転車ロードレース等を行うことで、新型コロナウイルスの影響で減った事業参加者数をコロナ前に戻すことで、全体的な施策の効果を上げていきたいと考えている。</p>
	【意見・質疑応答】
会長	<p>○資料の文字が少し小さくて見づらいかと思う。</p> <p>○事務局の自己評価について各委員の意見を聞きたい。</p> <p>○振り返りの見せ方として、このような資料の作り方でよいのか、各委員から意見が欲しい。</p> <p>○事務局にお願いしたいのが、資料の到着が会議直前であったので、今後は余裕を持</p>

	<p>って資料を郵送してほしい。</p> <p>○本日は、この場にて意見もいただくが、この議題については、資料送付の関係から各委員も熟読できていないと思うので後日、事務局へ電話やメールなどで委員からの意見を受け付けるようにしてほしい。</p>
事務局	<p>○資料送付が遅くなり申し訳ございません。今後は、余裕をもって送付させていただく。</p> <p>○別途、資料8へのご意見を伺うため、改めて各委員にメールを送付させていただく。</p>
委員	<p>○私も関わっている通し番号12「市民体育大会」について、施策の柱4「スポーツライフを創出する」に関連する施策として、4-1「スポーツを通じた健康づくり」や4-3「スポーツを通じた生きがいづくり」などが該当すると思う。</p> <p>○以前から言っているが、費用対効果が大事だと考える。きちんと事業の振り返りを行って厳しめに見てもよいと思う。予算がなくて、進められない事業もあると思うので。良いものは予算を増やして進めていき、見直すべきものは見直して縮小するなどしていただきたい。</p>
会長	<p>○では、資料における事業と施策の体系の関係性を再点検して、各事業において、施策と関連する箇所にて増やせるところがあれば、資料中に“○”を増やすなど行うため、各委員よりご意見をいただきたい。</p>
委員	<p>○私が関わったものとして、小学校で11の「読売巨人軍 小学校訪問」がある。これは子供たちにも好評で、またコロナ禍で子供たちの体力が低下した時に投げ方を教わったことは効果があったと考える。これは、「3-1レベルアップに向けた支援」が該当とのことだが、その効果についても、もう少し見えるようにした方がよいのではないかと。</p>
委員	<p>○本資料に掲載してあるスポーツ振興課が行った事業において、予算ゼロの事業もありますか。たとえば、「読売巨人軍 小学校訪問」とか東京ヴェルディ協働事業は費用かかっているのか。地域貢献するのはプロスポーツとして当然だという考えもあるが。</p>
事務局	<p>○「読売巨人軍 小学校訪問」事業は無料であるが、東京ヴェルディ協働事業は一部講師謝礼などが発生している。</p>
委員	<p>○予算が妥当かどうかについては、毎年行っているものについては、見直しが必要だと考えるがなかなか難しいという現状もある。全体を通して意見を求められるよりも、具体例を提示してもらった方が、審議しやすいと思う。</p>
会長	<p>○事務局の立場で、特定の事業に切り込むのは難しいと思うが、審議会委員に審議項目として出してもらえれば、審議会として意見を伝えることは可能であると考えている。</p>
委員	<p>○事業名の箇所で、他は～事業となっているのに、「スポーツ推進委員費」だけ、どうしてスポーツ推進委員費となっているのか。</p> <p>○新春歩こう会が、スポーツ推進委員費ではなく、スポーツ教室運営事業に分類されており、少し違和感がある。</p>
事務局	<p>○事業の分類については、予算の項目ごとに分類している。スポーツ推進委員費は、スポーツ推進委員への報酬(月額)と消耗品が主な費用となっている。そのため、明確な基準があるわけではないが委員費という名称になっている。</p>
委員	<p>○新春歩こう会は令和4年度に4年ぶりに行えた。131名の参加があったが、協力したスポーツ推進委員が18名で事務局は3名しかいなかった。主催者側の人手が少なく、万が一何かがあったらどうするのかと少し不安であった。</p>
委員	<p>○以前からその人数で行ってきたという経緯はある。</p>

事務局	○新春歩こう会が、「スポーツ推進委員費」ではなく「スポーツ教室運営事業」に入っていることなど、ご指摘のとおりわかりづらいので、事業分類の割り当てなど見直しを検討したい。
委員	○資料8はA3資料だと見づらかった。また、審議会委員はそれぞれ忙しい人が多く、資料を読み込む時間がないことがある。
会長	○審議会委員が資料を読み込む時間なども、事務局には配慮いただきたい。
事務局	○承知した。
委員	○ラジオ体操教室をなぜオリンピック・パラリンピックムーブメント推進事業で行うのか。ラジオ体操教室も、リピーター参加する人が多い。新規参入者を増やすための試みも大事ではないか。特に働く世代のスポーツ実施率が低いので、それを取り組んでいきたいが、ラジオ体操教室では働く世代が参加できる時間帯で行っていない。ラジオ体操教室ではなく、夜遅くのフィットネスとかヨガなど新しい取り組みへ変えていくことなどが必要ではないか。
会長	○スポーツ推進計画では、計画策定時市民が週に1回スポーツをしている人の割合は60%であり、それをさらに発展させていくことを目標としていた。市の総合計画では2028年までに70%を目標としている。一方で、令和3年度の多摩市政世論調査では、市民が週に一度スポーツをしている人は50.7%である。いずれにしても数値を上げていくための推進計画の方向性については異論がないと考えるため、令和5年度の取組を再度事務局側で検討して、次回以降本審議会で議論していければと考えている。事務局としてご異論はないか。
事務局	本日は、こちらの不手際で十分なお意見を伺うことが出来ず申し訳ありません。事務局で改めて委員に頂きたい内容を整理し、メールをさせていただきます。

最後に

事務局	・第二回の審議会は、7月18日（火）14時から開催予定で今後調整を行う。
-----	--------------------------------------

（閉会時刻 午後4時15分）